

平成23年度 予算に対する事項別質問

総務課

東日本大震災の 復旧・復興支援を

寄定議員 国難ともいえる東日本大震災の復旧・復興支援に消防団を派遣すべきでは。

総務課長 消防団の派遣は県消防協会にて検討中である。

副町長 人的支援は消防団と協議する。

町職員もボランティア休暇制度を利用し、現地の受け入れ態勢が整い次第参加したい。

佐伯議員 空き家になり防火水指定の池が機能していない。土砂の撤去で水利確保を。

総務課長 個人所有の池の改修は規定にないが検討する。

橋本議員 防火水槽設置は補助金の有無にかかわらず住民の強い要望なので、一般財源でも設置すべきだ。

総務課長 県の補助金がないが、検討したい。

財政課

交付税

大震災の影響は

丸山議員 東日本の地震・津波の被害は甚大である。交付税への影響は。

財政課長 普通交付税は所定の算定で現在の予算額の確保はできると思う。特別交付税は、災害などを優先し、総務省から交付税決定日の延期を受けている。全額交付日は未定であるが、病院・福

祉事務所関係などは確保できると思う。

木野山議員 かがやきネット管理運営基金は、資本的収支と収益的収支が分かるように記帳し、まちづくり推進課で公表すべきだ。

財政課長 かがやきネット管理運営基金は一般会計予算に含まれている。一般会計全体に基づく会計公表はこの基金だけを公表することはない。まちづくり推進課でかがやきネット部分だけ抽出して計算するかたちをとれば、バランスシートの分析ができる。

まちづくり推進課

国際協力としての 海外難民受け入れは

橋本議員 農村地域総合整備事業の団地整備の場所・面積と生産計画および運営は。

産業課長 トマト・ブドウなどの小団地整備として、油木地区2カ所約1畝で農業公社が整備を行う。

環境衛生課

やすらぎ苑の整備は

瀬尾議員 やすらぎ苑の和室の畳に座るのが困難な人が多くなった。机・イスの整備を検討すべきでは。

環境衛生課長 施設の改善とあわせて検討する。

村上議員 簡易水道の監視装置(31施設)1億2700万円の効果は。

環境衛生課長 異常事態には、素早く携帯電話に通報があり、迅速な危機管理対応ができる。

橋本議員 自治体国際協力指針事業297万円の内訳は。

理事 海外難民3人分の短期農業研修費141万7000円。有機農業手引き書作成費70万円。受け入れ方策調査費60万円。町民を対象にした広報活動費25万円である。

木野山議員 定住促進事業の各報償金で可能なものは、「地域通貨券」で対応したらどうか。

理事 メニューによって可能なものがあれば見直しを検討したい。

村上議員 新築定住の補助250万円は。町内工務店新築補助金1000万円は。

理事 50万の5組である。町内業者を60%以上使用し、町内工務店で50㎡以上の住居新築する者に100万円補助。滞納がなく10年定住する者10組を予定している。

横尾議員 自治振興会活動経費の繰越額が毎年増えている傾向がある

が対策は。

理事 地域再生の活動を活発に行っている自治振興会への資金配分を多くとの話をしたが難しい。新たな集落支援制度などを活用して自治振興会を巻き込んだ取り組みを実施したい。



いずみ保育所・退所する子どもたち

瀬尾議員 ①有線柱

などの撤去費が9000万円であるが、地権者に払い下げ節約すべきだ。

②端末機器撤去補助金が360万円、撤去単価は。理事 ①有線柱は自治振興会が責任を持って撤去していただければベストである。

②端末機器撤去は自治振興会に依頼、1世帯15

00万円の補助を予定。

小林議員 地域おこし協力隊の受け入れは。

理事 全国公募し、作文などの書類選考後、面接により決定する。住居は民家・公営住宅を予定している。入居後、1〜2カ月かけて地域を知って頂く。

8月頃から自治振興会を中心にフォローアップ・研修・自己研修し地域おこしのための活動を予定している。

保健課

予防ワクチン接種を 全額公費負担で

寄定議員 新年度予防接種事業の具体的内容と新たな取り組みは。

保健課長 定期予防接種はもとより、平成23年度事業は高齢者インフルエンザワクチンの無料接種

総合開発事業

星の里いせきの建築は

村上議員 「星の里いせき」に4月から建築できるのか。販売アドバイザーの経費年500万円の3年間で1500万円は。

理事 開発許可の変更申請中で4月中に完了。平成24年度末までに70%を目標に早期の販売完了に取り組む。

丸山議員 「星の里いせき」は、販売管理費が多すぎるのでは。

理事 販売アドバイザー・管理者など、契約しているので変更はできない。

木野山議員 総合開発事業の23年度の売上計画が1億1900万円。その内2500万円が推進経費、約9000万円が基金積立だ。基金運用はどうする。基金が不足し補填となれば赤字なのか。

理事 基金から売上経費を賄う。不足すれば調整基金を取り崩す。

22年度、23年度と継続事業の子宮頸ガン・ヒブワクチン・小児肺炎球菌ワクチンの全額助成と高齢者肺炎球菌ワクチンの一部公費助成(3000円)を実施する。

寄定議員 予算大綱には、「高齢者肺炎球菌ワクチンの予防接種を個人負担なしで実施し、子どもから高齢者まで幅広く疾病予防を図る」とある。

3000円の公費助成は予算大綱と整合性がない。無料にすべきでは。

財政課長 予算大綱のとおり、無料の方向で6月補正で対応する。

瀬尾議員 第5期高齢者プランは、部分改正であるなら委託せず自前で作成すべきでは。

保健課長 委託項目などを再考し、6月に減額補正をしたい。

松本議員 保健師の補充など人材の確保は。保健課長 現在の体制で保健業務は推進していく。

建設課

盛土の確保は 出来るのか

橋本議員 町道仁川谷線の盛土の確保は。完成予定は。

建設課長 平成23年度は5000㎡搬入予定である。建設発生土の工事間利用で資源の有効活用とコスト削減を図る。平成25年度完成予定だ。

産業課

松本議員 特産品のブドウ、トマトについて、高齢で、後継者がいない人については町が仲介し、新規就農者や規模を拡大したい人に貸して有効に利用しては。

産業課長 JAのブドウ部会でも取り組まれているので、検討したい。

教育課

学校耐震化への対応は

小川議員 神石小学校は耐震補強で基準値を満たすことができない。崩壊の危険性はないか。

教育課長 震度6以上では危険があり、保護者に説明した。学校統合との兼ねあいもあり、早期に対処したい。

松本議員 中高一貫教育は連携型で推進されるが、油木中学校の新築はどうするのか。

教育課長 油木中学校は老朽化が激しいので、総合的に検討したい。

病院事業室

木野山議員 貸付利息120万円の根拠は。

陽正会に対する運転資金1億円の貸付けは洗い替え方式である。

町長 当然、継続ではなく洗い替え方式である。直接私に要請があった。